

歩二二長	同	吉田勝	32	20	6	22	戦死
歩三二長	大佐	北郷格郎	27	生	存		
歩八九長	同	金山均	26	20	6	21	戦死
搜索二四長	少佐	才田男太郎	13	20	6	20	戦死
野砲四二長	大佐	西澤男雄	28	20	6	21	戦死
工二四長	同	兒玉昶光	27	20	6	22	戦死
輜二四長	同	中村卯之助	26	20	6	21	戦死

別紙

感 状 寫

第二十四師團
同配屬部隊

右は陸軍中將雨宮巽統率の下昭和二十一年三月敵沖繩本島に侵寇するや諸戦島尻南部要域の防衛を嚴にして敵の蠢動を許さず四月上旬中頭地區より敵三師南下し第六十二師團方面の戦況危急を告ぐるや轉じて首里東北方の戦線に加入し敵南下の鋭鋒を挫き特に五月上旬敵第六十二師團に對する攻撃に方りては軍の中核兵團として至難なる狀況を克服し晝夜二日に亘り猛攻を敢行して敵後方兵團出撃の初動を破摧し大いに威武を發揚す

爾來與那原首尾の線に鐵桶の陣と布き善謀勇戦遺憾なく兵團の精強を發揮して克く長期に亘り敵の攻勢を擊退し之に甚大なる打撃を與へたり顯功正に賞讃に値す

此の間師團長の統率機宜を得同師團の勇戦敢斗は全軍の龜鑑たり仍て茲に感状を授矣す

將來愈々志氣軒昂従前の追刃を以て大君の御爲忠則盡命の大節に倣し
忠節を全ふすべし

昭和二十年六月十日

第三十二軍司令官陸軍中將

正四位
勳二等

手

島

滿